

2022年度 事業報告

社会福祉法人 横浜いのちの電話



トモエソウ



目次

ご挨拶	1
2022年度 事業報告	2
活動概要	2
電話相談活動	2
研 修	3
活動報告	3
相談員数と受信件数	5
電話受信状況	6
2022年度 決算報告	9
2023年度 事業計画	10
2023年度 資金収支予算書	11
法人組織	12
感謝録（寄付報告）	13
事業支援委員会 感謝録	15
組織図	16



ご挨拶

2022（令和4）年度の事業活動と収支決算をここにご報告いたします。この一年間も多くの方々にご支援、ご協力をいただき、このように活動を続けることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私ども横浜いのちの電話の日本語相談は、「いつでも、誰でも、どこからでも」という電話の即時性と匿名性を保持し、電話で寄り添うことを大切にしながら、認定されたボランティアにより年中無休24時間体制の自殺予防電話相談活動を行っております。また、中南米からの在日外国籍の方々のためのスペイン語、ポルトガル語による外国語相談も同じく認定されたボランティアにより週3日の活動を続けています。さらに心理や法律の電話による専門相談も行っています。それぞれ無事に相談をお受けすることができうれしく思っております。

年度当初には建物の改修工事が終わり、きれいで快適になったセンターで新たな気持ちで相談活動に取り組むことができるようになりました。新型コロナウイルス感染防止のため相談時間の短縮や事業支援会の活動などを制限してきましたが、相談員の協力の中、金曜日と土曜日を24時間体制で行うことができるようになり、秋のコンサートや春の映画会も感染予防に留意しながら多くの方々をお迎えして開催することができました。また、相談員の養成研修も無事に行うことができ、日本語、外国語の新たな相談員を迎えることができました。このように少しずつですがコロナ前の状態に戻りつつあることをとてもうれしく思っています。

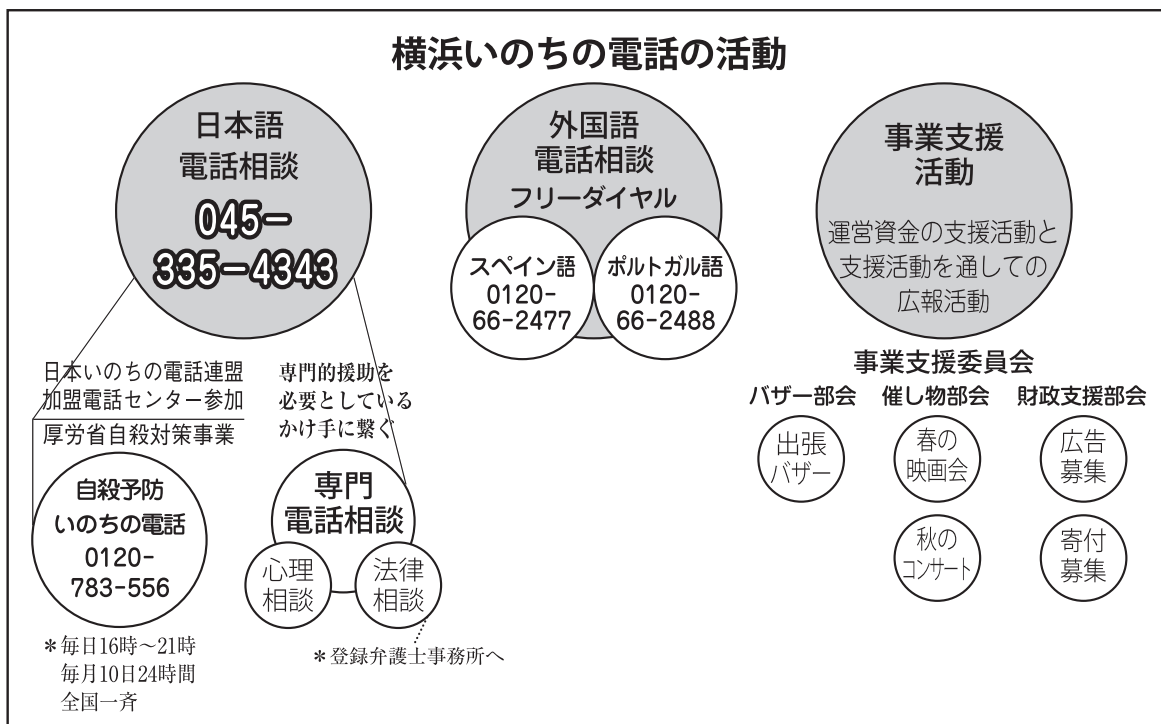
私たちの電話には、常に多くの方々からの電話がかかってきます。私たちを必要としてくださる方々の相談を少しでも多くお受けできるように、これからも努力していきたいと思っています。

今年度も社会福祉法人としての自覚と責任を担いながら、《いのちを大切にする》市民活動を続けてまいります。常に自殺予防としての電話相談の質を問直し、「かながわ自殺対策会議」をはじめ県市町の行政機関、関係諸団体と連携、協力しながら、生きる力を信じて支え、お一人おひとりの電話に寄り添う、柔軟な自殺予防活動に取り組んでいきたいと思います。

43年目の歩みを始めています。横浜いのちの電話がこれからもより良い相談ができるように、皆様方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

2023年7月

社会福祉法人 横浜いのちの電話
理事長 松橋秀之



活動概要

2022年4月に一時移転先から元の施設に戻って活動した。コロナ禍の中での活動ではあったが、緊急事態宣言が発令されなかったこともあり、研修等は計画通りに実施出来た。日本語電話相談は2020年度より8時～22時で実施していたが、2022年7月より土曜日、2023年2月より金曜日の深夜帯の活動を再開した。

また、日本のいのちの電話連盟が毎月10日に実施しているフリーダイヤル「自殺予防 いのちの電話」には8時～22時、2020年度より実施している「毎日フリーダイヤル」（16時～21時）には、2021年度に引き続き、毎月1日と20日に16時～19時で参加した。

電話相談活動

※統計数字は日本のいのちの電話連盟にあわせて年（1月～12月）で集計しています。

日本語電話相談

1. 一般電話相談 045-335-4343

- (1) 年中無休24時間体制を理念として電話相談活動を継続したが、コロナ禍により時間を短縮しての活動を余儀なくされた。
- (2) 実働相談員137名（2021年159名）が原則として月2回の電話担当に入り、15,388件（2021年13,636件）の電話相談を受信した。

2. 専門相談（心理・法律）

専門的援助を必要としているかけ手に対しては、一般相談から専門相談につなぎ対応した。

受信件数 心理専門相談 107件（2021年106件） 法律相談 19件（2021年20件）

3. フリーダイヤル「自殺予防 いのちの電話」 0120-783-556

- (1) 厚生労働省の自殺防止対策事業（自殺防止対策事業補助金交付）である「自殺予防いのちの電話」に引き続き参加し、毎月10日のフリーダイヤル（8時～22時）と、1日と20日の16時～19時に毎日フリーダイヤルで相談を受けた。
- (2) 県及び市町村に、ポスター、カード配布等の広報活動を行った。
- (3) 受信件数515件（2021年425件）のうち自殺に関する件数111件（2021年105件）担当した延べ相談員数139名（2021年106名）

外国語電話相談 LAL（Linea de Apoyo al Latino/Linha de Apoio aos Latinos）

一般電話の他にフリーダイヤル相談も実施している

- (1) 主に中南米からの外国籍県民を対象に母語（スペイン語・ポルトガル語）のメンタルヘルス相談を神奈川県と横浜市の援助により実施した。相談員の国籍は7ヶ国で、担当した相談員数は40名（うち日本人11名）である（2021年は8ヶ国で、担当した相談員数は45名（うち日本人10名））受信件数1,205件（2021年1,212件）。スペイン語530件（2021年485件）、ポルトガル語675件（2021年727件）。
- (2) 開局（1993年9月1日）以来の受信件数は32,275件である。

研 修

日本語電話相談

1. 養成研修

- (1) 全国的に応募者の減少がみられる中、積極的な広報活動を実施し2022年度は22名（2021年度51名）の方の応募があった。
- (2) 3月、「応募動機」「自分史」の応募書類の審査とグループ面接の結果、19名を選考した。
- (3) 前期研修（4月～9月）としては人間関係基礎研修（宿泊研修を含む）、ロールプレイ研修などを実施した。
- (4) 後期研修（10月～翌年2月）は、専門分野の講師による「いのちの電話の成り立ち」や「精神保健」、「相談対応」などについての講義を10回実施した。また実習で電話インターン研修を実施した。
- (5) 前期研修、後期研修を通して、相談員としての適性を審査した結果、6名（2021年度14名）の方を認定し、3月25日（土）認定証を授与した。なお、応募から研修期間中に体調不良や家庭、仕事の事情により研修が継続困難となり、4名の方が辞退した。

2. 継続研修

相談員は、認定された後も引き続き各種研修が義務付けられている。相談員として良き聴き手となるためには研修は必修である。

(1) 初任者研修

認定された直後の相談員は1年間、月1回の研修が義務付けられており、2グループで実施した。

- (2) 地区別グループ研修
 相談員は14の地区別グループのいずれかに所属することとしており、毎月1回、研修を実施した。グループは良き聴き手となるための学びを深めると共に、相談員の支えあいの場となっている。
- (3) 全体研修
 相談員が幅広い知識を習得することで、より良い相談活動が出来るように、毎年、講義内容を精査し研修を企画している。2022年度も「ウイリング横浜」（上大岡）において、下記の通り2回実施した。
- 第1回 「いのちの電話と対話」 6/25（土）14：00～16：00（81名参加）
 講師 松尾隆義氏（東京いのちの電話研修委員）
- 第2回 「電話相談員に期待すること その心と言葉 ～こころの声を聴く」
 11/27（土）14：00～16：00（82名参加）
 講師 諸富祥彦氏（明治大学教授・心理学者）
- (4) 継続スーパービジョン
 電話相談を熟知した6名のスーパーバイザーによるスーパービジョン（2時間）を、128名（2021年度109名）に對して実施した。
- (5) 相談員スキルアップ研修
 10/22（土）～23（日） 国民生活センターにて相談員スキルアップ研修を1泊2日で実施した。
 参加者20名（リーダー6名含む）

3. 研修担当者

- (1) 研修委員会
 相談員養成研修、相談員継続研修など研修全般にかかわる内容について、企画、提案、課題対応を行うために6回開催した。
- (2) 研修担当者研修
 研修担当者としてのスキルアップを図るため、事例研修を2回実施した。
- 1回目 11/19（土）10時～12時
 2回目 1/28（土）10時～12時
- (3) 研修担当者養成研修
 2022年度は2名の参加があり、相談員スキルアップ研修に参加してもらった。
 養成生ロールプレイ研修のオブザーバーとしての振り返りを9/17（土）に実施した。
 研修担当者研修において、事例の提供者として、事例検討に参加した。
- (4) 講師派遣
 外部機関へ研修講師として研修リーダーを派遣した。
- 6/28 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 「障害福祉入門（新入職員）研修会」
 10/2 NPO法人こころの電話金沢 「全体研修会」
 3/22 ライオンズクラブ国際協会330-B地区・川崎いのちの電話と共催の「いのちの電話公開講座『傾聴の大切さ』」
 3/27 茅ヶ崎市保健所 「ゲートキーパーフォローアップ研修」

外国語電話相談

1. 養成研修

- (1) 相談員養成研修はスペイン語・ポルトガル語ともに6月から12月まで24回の講義（理論・ロールプレイ）、1月から3月まで電話インターン研修を実施した。
- (2) 研修参加人数は8名（ポルトガル語5名+スペイン語3名）、そのうちスペイン語1名+ポルトガル語4名が認定された。国籍は日本3名である。

2. 継続研修

相談員継続研修では、相談員が組織の一員として活動していることへの理解を深めることを目的に、心理学のテーマに基づき、対応の難しい相談の事例検証や、対応のテクニックや心構えを振り返るスーパービジョンを行いながら、相談対応の改善を図った。継続研修は計4回及び相談員内勉強会を2回実施した。その他研修担当による個人またはグループでのスーパービジョンを年2回（9-10月及び2-3月）、計23名に実施した。

活動報告

対外活動

- (1) 日本いのちの電話連盟社員総会が6月25日（土）にハイブリッド形式で実施され、理事長が対面で出席した。事務局長会議が7月2日（土）にハイブリッド形式で実施され、事務局長が対面で出席した。またオンラインで、8月20日（土）に開催した関東甲信越ブロック会議に研修リーダーと事務局スタッフが出席した。2月27日（月）に開催した関東甲信越ブロック理事長会議に事務局長が代理出席した。
- (2) 官民共催の「AIDS文化フォーラムin横浜」の委員として、理事長が第1回組織委員会（4月14日）、開会式（8月5日）に出席した。
- (3) 「かながわ自殺対策会議」（7月21日）に理事長が委員として出席した。
- (4) 「よこはま自殺対策ネットワーク協議会」（9月10日、1月27日）に事務局長が委員として出席した。

- (5) 秦野市自殺対策推進委員会（11月10日）に事務局長が委員として出席した。
- (6) 相模原市自殺対策協議会（2月7日）に研修委員長が委員として出席した。
- (7) 湯河原町自殺対策推進協議会（10月26日対面、2月書面開催）に事務局長が委員として出席した。
- (8) ライオンズクラブ国際協会330-B地区の社会福祉活動の一環として、102ヶ所のライオンズクラブへ当センターの紹介や催し物の案内、維持会員・賛助会員をお願いをいただいたり、ライオンズクラブ内のイベント開催時の募金活動などで、「いのちの電話」の活動支援をいただいた。また3月22日（水）に、ライオンズクラブ国際協会330-B地区・川崎いのちの電話と共催で、「いのちの電話公開講座」（テーマ『命の大切さ』・参加者145名）を実施した。
- (9) 川崎いのちの電話事務局と情報交換を行った。
- (10) 毎年9月10日に実施している、JR東日本・川崎いのちの電話と共催で横浜駅での「自殺予防いのちの電話」のPRチラシの配布（連盟主催）、及びかながわ自殺対策会議のメンバーとしてJR横浜駅及び淵野辺駅構内で自殺防止啓発のチラシの配布は実施されなかった。

LAL関連の対外活動

- (1) 6月23日（オンライン）「第1回外国籍県民相談等に関する研修会 - 地域連携のための事例検討会～外国籍県民の包括的支援に向けて～」にLALコーディネーターが参加した。
- (2) 11月10日 東邦大学医学部精神神経医学部主催で、在日ラテンアメリカ人の生徒たちを対象に、メンタルヘルスに問題を抱えている実態を把握するための調査の結果報告をするために、群馬県太田市の「日伯学園」を訪問した。調査対象の結果報告/説明の通訳などでLALコーディネーターが協力を行った。
- (3) 11月15日 「ブラジル日本文化福祉協会」の委員会メンバーが来日し、在日日系ブラジル人コミュニティとの交流を目的としたミーティングでLALの活動の紹介をLALコーディネーターが行った。
- (4) 11月20日「かながわ国際交流財団（KIF）」主催のセミナー「メンタルヘルスとサポート～日本で生活するための心のケア～」をテーマにLAL養成講座の講師が講義を行った。
- (5) 1月26日 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）の主催により、2022年度「神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会」が行われた。LALコーディネーターはLALの活動の紹介及び他機関との連携・強化を中心に意見交換を行った。

相談員委員会

1. 相談員委員会定例会

相談員委員会は、相談員の継続研修を行う各地区別グループから選出された相談員委員会委員、事務局長、研修委員会の委員で構成され、原則として毎月第1土曜日 13：30～15：30 開催し次の活動を行った。（8月は休会）

- (1) 相談活動における連絡・報告を通じて、相談員間の情報の共有を行った。
- (2) 相談員として必要な基本的な心構え及び組織の一員として活動することを適宜、再確認し合った。
- (3) 電話相談活動におけるいろいろな課題について話し合い、相談環境の向上を図った。
- (4) 深夜帯の再開を検討し、7月より土曜日、2月より金曜日を再開した。

2. 研修・行事の担当

相談員は組織の構成員でもあるため、全体研修や新年会などの行事の準備・進行をそれぞれ地区別グループが担当することになっているが、2022年度は6月と11月に開催された全体研修を担当した。

3. 相談員のつどいの開催

毎年開催している「新年会」と「相談員のつどい」は実施出来なかった。

事業支援委員会

横浜いのちの電話の活動をより社会に広め、運営資金を得ることで事業を支援するために、次のような活動を実施し、法人会計へ50万円を繰り入れた。また、このような支援活動を通して、横浜いのちの電話の支援と協力をお願いする広報活動を行った。会員数約60名。

1. バザー部会

- (1) コロナ禍のため会員の仕事会活動を月1～2回に縮小し、バザー商品を製作した。
- (2) 出張バザーは、コロナ禍前に開催されていた教会等の会場での実施はなかったが、「よこはまチャイルドライン20周年～そして、これから～」のイベント会場と、ライオンズクラブ国際協会330-B地区・川崎いのちの電話と共催で実施した「いのちの電話 公開講座」の会場で実施することができた。また春の映画会でもバザーを実施し、食品も4年ぶりに販売することができ皆様に喜んでもらった。

2. 催し物部会

- (1) 秋の催し 「世界と日本の名曲で巡る音楽紀行」音meetsフレンズ コンサート
2022年10月28日（金）18：30～20：30 於：関内ホール
チケット売上350枚 当日入場者326名（含招待者）
- (2) 春の映画会「キネマの神様」
2023年3月7日（火）第1回目11：00～13：10 第2回目14：30～16：40 第3回目18：30～20：40
於：さくらプラザホール チケット売上773枚 当日入場者673名（含招待者）

3. 財政支援部会

10月のコンサート、3月の映画会で募金活動を実施した。

広報委員会

広報「横浜いのちの電話」103号（5月）・104号（11月）を発行した。

事業報告書の発行（7月）

「2021年度事業報告」を発行した。

ボランティア間の交流

横浜いのちの電話では、日本語相談・外国語相談・事業支援ボランティア・特別技能ボランティアが活動しており、単独または合同での場を設け、相互の交流を深めている。

2021年度に引き続き、全ての交流会を中止した。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 外国語電話相談員交流会 | 中止 |
| (2) 外国語電話相談員クリスマス会 | 中止 |
| (3) 新年会 | 中止 |
| (4) 日本語電話相談員の集い | 中止 |

募金活動

横浜いのちの電話の活動のために多くの維持会員・賛助会員から寄付をいただいた。

寄付金収入合計 8,074,727円（2021年度12,331,726円）

維持会費383件（個人353件 団体 8件 法人22件）2,291,000円（2021年度 2,402,000円）

一般寄付466件（個人383件 団体45件 法人38件）5,783,717円（2021年度 9,929,726円）

神奈川県地域自殺対策強化交付金事業

神奈川県より200万円の神奈川県地域自殺対策強化交付金事業補助金の交付を受け、主に相談員の研修にあて、相談対応の質の向上及び改善につなげる等、自殺防止対策のために使用した。

相談員数と受信件数

相談員数			受信状況の推移		
			年度	日本語（件）	外国語（件）
日本語相談		189名	2010 4-3月	22,067	1,429
専門相談	心理相談	12名	2011 1-12月	22,051	945
	法律	4名	2012 1-12月	21,526	950
外国語相談		40名	2013 1-12月	21,728	792
受信件数			2014 1-12月	21,509	1,126
日本語相談	実相談数	15,388件	2015 1-12月	21,256	1,179
	（うち自殺志向）	1,515件	2016 1-12月	21,306	1,306
	（うち自殺予防フリーダイヤル）	515件	2017 1-12月	21,372	1,957
専門相談	心理相談	107件	2018 1-12月	21,369	1,652
	法律	19件	2019 1-12月	21,600	1,135
外国語相談	スペイン語	530件	2020 1-12月	10,730	912
	ポルトガル語	675件	2021 1-12月	13,636	1,212
			2022 1-12月	15,388	1,205

電話受信状況 相談データ

【電話相談の状況】

1. 日本語電話相談 年代別・男女別受信件数（図1, 表1）

2022年の受信件数は、15,388件と前年の13,636件より微増となった。コロナ禍で休止していた深夜活動を一部再開できた結果が現れている。コロナ禍により減少した相談員数は高齢化もあり実働数はコロナ禍前に戻っていない。男女別では、女性（57.2%）がほぼ6割を占めている傾向は変わりがない。年代別では、男性は40代、50代、60代の順に多く、女性は前年と同じく60代が最多でそれに50代、40代となっている。特に40代の男性受信件数が2倍以上に増加していることが際立つ。匿名性を尊重しているため、年齢不明が4割超となっているが、年代がわかる受信件数8,285件のうち、10代以下（2.5%）、20代（4.9%）と若者からの相談件数は前年と大きくは変化していない。一方で、全体の中で40代（23.7%）、50代（24.9%）、60代（27.1%）の占める割合は前年同様多い。

2. 日本語電話相談 内容別受信件数（図2, 表2）

内容別では、「精神」が最多（25.0%）で、「人生」（21.1%）、「家族（親族を含む）」（13.0%）、「身体」（10.5%）、「対人」（7.6%）の順となっている。それぞれの内容では、「精神」は病気に関するものが、「人生」では生き方、生きがいや孤独が多い。「家族（親族を含む）」では不満、介護、子育てに加えて虐待も増えている。「対人」では、不和・トラブルが多くなっている。年代別に見ると、20代から50代にかけては「精神」が最も多いのに対し、10代以下は「家族」が多く、60代以上は「人生」が最も多く、若年層と高齢層での違いが見受けられる。

3. 日本語電話相談 年代別受信件数と自殺志向率（図3, 表3）

受信件数に対する自殺志向数は1,515件で、自殺志向率は9.8%で前年の7.9%より上がった。年代別では、40代、50代、60代の順で自殺志向件数の割合が高くなっている。一方、自殺志向率では、前年は30代、40代、20代の順だったが今年は40代が突出している。男女別では、男性のほうが自殺志向率はわずかに高くなっているが、年代別にみると男性は40代（29.0%）が非常に高く、次に50代（11.7%）60代（8.9%）が高いのに対し、女性は10代（16.1%）が最も高く、次いで20代（14.5%）30代（14.5%）となっており、男女差が見受けられる。

4. 日本語電話相談 内容別受信件数自殺志向率（図4, 表4）

内容別の自殺志向件数は、「精神」、「人生」、「家族」の順で高くなっている。また自殺志向率は、「精神」（15.0%）「人生」（13.6%）「経済」（13.1%）「教育」（12.5%）の順となっており、受信件数としては少ない「経済」「教育」の自殺志向率が高くなっている。自殺志向のほとんどは『自殺念慮』であるが、より危険度の高い『予告・通知』の37件中「人生」が15件、「精神」が10件となっている。また、『実行中』の3件は「人生」となっており、これら項目は、危険度が高いものが多く含まれているといえる。

5. 日本語電話相談 フリーダイヤル（図5, 表5）

毎月10日と毎日16時～21時のフリーダイヤルで全国のセンターとオンラインでつなぎ、日本全国からの電話を受けている。男性からの相談件数がやや多くなっている。また、自殺志向率は通常ダイヤルと比べ高くなっている。女性の通常電話自殺志向率は7.9%だが、フリーダイヤル自殺志向率は25.8%となっている。内容別でも受信件数は通常電話と同様の傾向であるが、自殺志向率では通常電話は「精神」、「人生」、「経済」、フリーダイヤルは「教育」、「夫婦」、「職業」の順で傾向の違いが見受けられる。

6. 心理専門電話相談（図6, 表6）

2022年の相談件数は前年とほぼ同じで女性は特定2名の方からの相談が多くあった。内容別では「精神」が前年度は8割であったが今年度は98%とほとんどの相談者が精神に問題を抱えている。新たに一般電話から紹介された方が早めに心理専門相談に繋がるのが期待される。「精神」の主な内容では「対人関係」と「家族との問題」が非常に多くを占め、人と人との関りの難しさが深刻なのだと推測される。また病気や体調が悪化される方が多いことも心配である。

7. 法律専門電話相談（図7, 表7）

相談件数は前年とほぼ同数で女性からの相談が大半を占めていることも変わらない。内容別で最も多い相談は「家族・扶養」で5件、「金銭貸借」が3件、「その他」にもお金の問題が含まれていた。

8. 外国語電話相談（図8, 表8）

受信件数は前年とほぼ同じだった。相談内容別は、「人生」、「家族」、「夫婦」、「男女」の順になっている。特に「家族」及び「夫婦」の相談が増加した。最近になって目立つようになったラテン系コミュニティの高齢化に伴う健康問題、長い間もう連絡を取っていないため発生している家族関係の複雑化。「夫婦」の内容では、DV、浮気、離婚などがみられる。やはり、言葉の壁によって、失業や行政からのサポートがスムーズに受けられないなど、生活全般に対していろいろな悩みを抱えていることが、電話相談から知らされる。

日本語電話相談 年代別・男女別受信件数

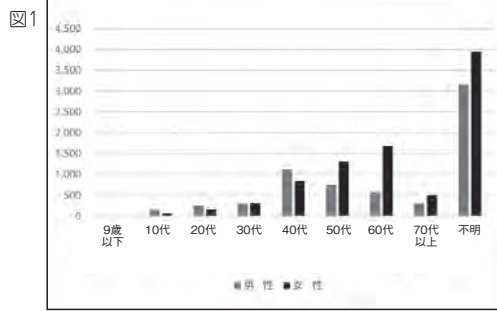


表1

年代別	男性		女性		合計	
	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
9歳以下	0	1	0	0	0	1
10代	143	130	62	32	205	162
20代	244	247	159	164	403	411
30代	294	423	303	396	597	819
40代	1,123	551	843	833	1,966	1,384
50代	751	731	1,311	1,326	2,062	2,057
60代	571	661	1,677	1,670	2,248	2,331
70代以上	302	194	502	342	804	536
不明	3,161	2,721	3,042	3,214	7,103	5,935
合計	6,589	5,659	8,799	7,977	15,388	13,636

日本語電話相談 内容別受信件数

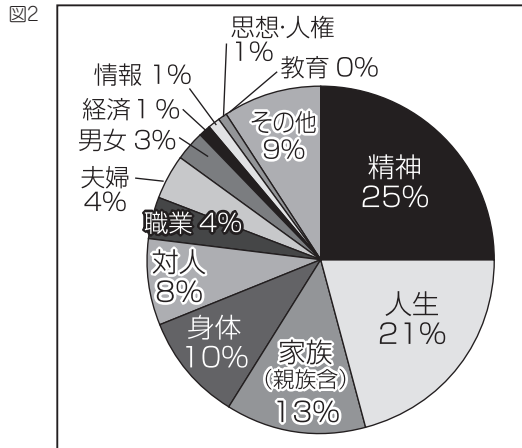


表2

	2022年	2021年	割合
精神	3,844	3,229	25.0%
人生	3,242	2,784	21.1%
家族(親族含む)	1,994	1,927	13.0%
身体	1,614	1,204	10.5%
対人	1,176	1,147	7.6%
職業	654	670	4.3%
夫婦	598	607	3.9%
男女	444	459	2.9%
経済	222	204	1.4%
情報	115	126	0.7%
思想・人権	87	91	0.6%
教育	48	49	0.3%
その他	1,350	1,159	8.8%
合計	15,388	13,636	100.0%

日本語電話相談 年代別受信件数と自殺志向率

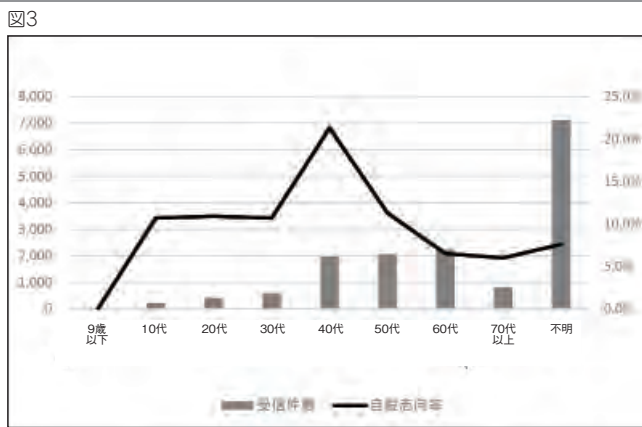


表3

年代別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
9歳以下	0	0	0.0%
10代	205	22	10.7%
20代	403	44	10.9%
30代	597	64	10.7%
40代	1,966	418	21.3%
50代	2,062	232	11.3%
60代	2,248	146	6.5%
70代以上	804	48	6.0%
不明	7,103	541	7.6%
計	15,388	1,515	9.8%

日本語電話相談 内容別受信件数と自殺志向率

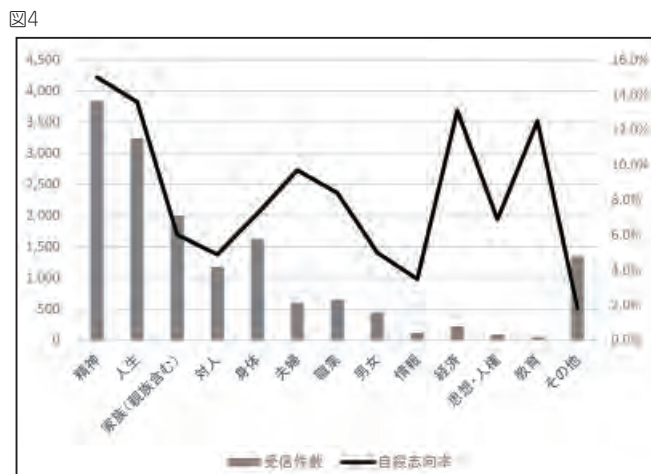


表4

内容別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
精神	3,844	575	15.0%
人生	3,242	442	13.6%
家族(親族含む)	1,994	120	6.0%
対人	1,176	58	4.9%
身体	1,614	116	7.2%
夫婦	598	58	9.7%
職業	654	55	8.4%
男女	444	22	5.0%
情報	115	4	3.5%
経済	222	29	13.1%
思想・人権	87	6	6.8%
教育	48	6	12.5%
その他	1,350	24	1.8%
合計	15,388	1,515	9.8%

日本語電話相談フリーダイヤル

図5

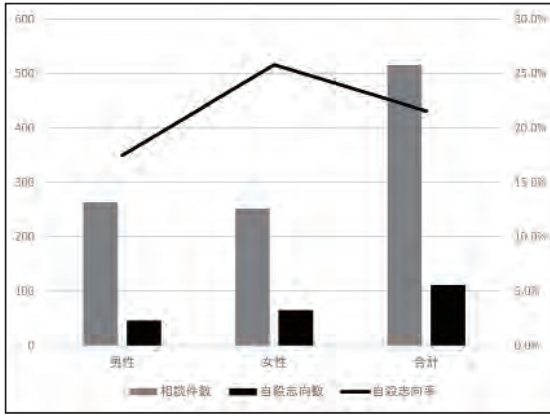


表5

	男性	女性	合計
相談件数	263	252	515
自殺志向数	46	65	111
自殺志向率	17.5%	25.8%	21.6%
平均通話時間	18.1分	25.4分	21.7分

心理専門電話相談・内容別受信件数

図6

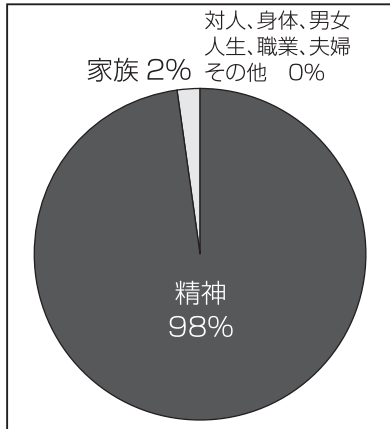


表6

項目	受信件数	割合
精神	105	98.1%
家族	2	1.9%
対人	0	0.0%
身体	0	0.0%
男女	0	0.0%
人生	0	0.0%
職業	0	0.0%
夫婦	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	107	100.0%

「精神」(105件)の主な内容
 対人関係 37件
 家族との問題 30件
 病気悪化・体調 20件
 生き方不安・孤独 11件
 職業・仕事 7件

法律専門電話相談・内容別受信件数

図7

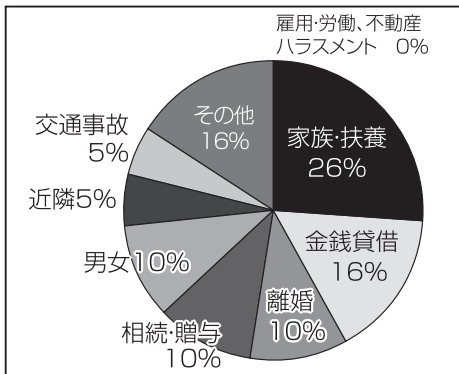


表7

項目	合計	割合
家族・扶養	5	26.3%
金銭貸借	3	15.8%
離婚	2	10.5%
相続・贈与	2	10.5%
男女	2	10.5%
近隣	1	5.3%
交通事故	1	5.3%
雇用・労働	0	0.0%
不動産	0	0.0%
ハラスメント	0	0.0%
その他	3	15.8%
合計	19	100.0%

外国語電話相談・内容別受信件数

図8

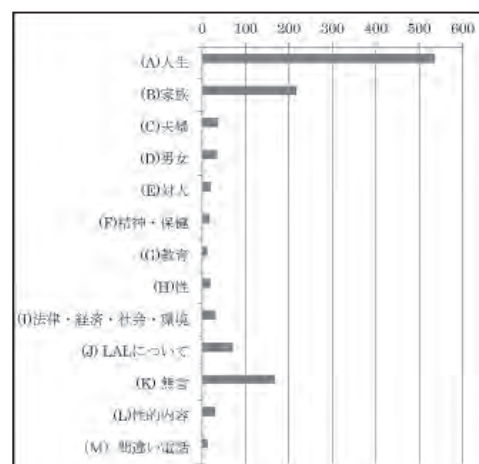


表8

	スペイン語	ポルトガル語	合計
(A)人生	290	246	536
(B)家族	20	197	217
(C)夫婦	29	8	37
(D)男女	7	28	35
(E)対人	7	13	20
(F)精神・保健	8	9	17
(G)教育	6	6	12
(H)性	14	5	19
(I)法律・経済・社会・環境	15	16	31
(J) LALについて	57	13	70
(K) 禁言	65	103	168
(L)性的内容	7	23	30
(M) 緊急い電話	5	8	13
総件数	530	675	1205

2022年度 決算報告

資金収支計算書

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日

(単位：円)

		予算	決算	差異
事業活動による収支	収入			
	事業支援委員会収入	2,810,000	3,412,025	△ 602,025
	寄付金収入	7,400,000	8,074,727	△ 674,727
	経常経費補助金収入	8,000,000	8,000,000	0
	研修事業収入	1,300,000	1,304,000	△ 4,000
	共同募金配分金収入	57,906	57,906	0
	連盟助成金	99,880	99,880	0
	雑収入	0	0	0
	受取利息配当金収入	5,000	9,477	△ 4,477
	事業活動収入計(1)	19,672,786	20,958,015	△ 1,285,229
	支出			
	人件費支出	9,340,200	9,041,864	298,336
事業費支出	9,959,499	9,859,361	100,138	
事務費支出	3,166,000	2,655,326	510,674	
事業活動支出計(2)	22,465,699	21,556,551	909,148	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,792,913	△ 598,536	△ 2,194,377	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	732,094	732,094	0
	施設整備等収入計(4)	732,094	732,094	0
	支出			
	固定資産取得支出	732,094	732,094	0
施設整備等支出計(5)	732,094	732,094	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	2,800,000	0	2,800,000
	支出			
	積立資産支出			0
その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,800,000	0	2,800,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,087	△ 598,536	605,623	
前期末支払資金残高(12)	18,449,237	18,449,237	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	18,456,324	17,850,701	605,623	

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	18,181,803	流動負債	331,102
現金預金	15,985,903	預り金	51,102
未収補助金	2,000,000	前受金	280,000
前払金	195,900		
固定資産	134,169,663	負債の部合計	331,102
基本財産	100,000,000	純資産の部	
定期預金	100,000,000	基本金	100,000,000
その他の固定資産	34,169,663	第1号基本金	100,000,000
器具及び備品	891,505	国庫補助金等特別積立金	2,064,770
電話債券	890,644	その他の積立金	31,214,180
ソフトウェア	1,173,334	相談事業費積立金	27,582,780
相談事業費積立資産	27,582,780	国際交流積立金	3,000,000
国際交流積立資産	3,000,000	ブラジルファンド積立金	631,400
ブラジルファンド積立資産	631,400		
		次期繰越活動増減差額	18,741,414
		(うち当期活動増減差額)	△ 641,824
		純資産の部合計	152,020,364
資産の部合計	152,351,466	負債及び純資産の部合計	152,351,466

監査報告書

社会福祉法人横浜いのちの電話における2022年度の計算関係書類及び財産目録について監査を実施したところ、事業の運営及び会計上、健全で、かつ公正に処理されているものと認めましたので報告します。

2023年5月11日

監事 野沢 豊[Ⓔ]
監事 目黒 裕[Ⓔ]

2023年度 事業計画

社会福祉法人横浜いのちの電話は、2023年度も「いつでも、だれでも、どこからでも」の原点に立ち、ボランティアによる自殺予防を中心とした眠らぬ電話相談活動を継続していきます。いのちを大切にする市民（ボランティア）運動として、その輪を広げていきます。5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類感染症に変更になりますが、引続きコロナ禍への対応をしながら、横浜いのちの電話基本理念にもとづき、次のとおり、実施します。

I. 電話相談事業《電話の即時性をもって匿名を確保し、寄り添う》

1. 2020年度からはコロナ禍によりそれまでの24時間活動を8時～22時までの活動にならざるをえなかったが、基本は24時間、年中無休の日本語相談活動を継続する。2022年度に、金曜日と土曜日の深夜帯の相談活動を再開したが、引続き他の曜日の再開を検討し漸次実施する。
2. 日本語電話相談のうち、専門的援助を必要とするかけ手を対象に、専門相談（心理・法律）を継続する。
3. スペイン語、ポルトガル語を母国語とするかけ手を対象に外国語電話相談活動（スペイン語・ポルトガル語）を継続する。

II. 電話相談員の養成とスキル向上《ひとりの人間としての成長を図る》

1. 電話相談員を育成するために電話相談員養成研修（1年間）を実施し、適性者を認定する。
2. 電話相談員のスキルの向上の研修を実施する。
 - (1) 日本語相談
 - ① 専門家による個人スーパービジョン（全員年1回必修）
 - ② 地区別グループ研修
 - ③ 全体研修
 - (2) 外国語相談
 - ① 専門家による講座（年5回程度）
 - ② 個人スーパービジョン（全員年1回以上必修）
3. 研修担当者養成研修を実施し、研修担当者を育成する。
4. 相談員が活動しやすくなるよう相談環境の改善に努める。

III. ボランティアの募集《自発的に参加するボランティアによって支えられている》

1. 日本語電話相談員、外国語電話相談員及び事業支援ボランティアを積極的に募集する。
2. 日本語電話相談については24時間体制を維持するために、また外国語相談の継続のために、マスメディア、各自治体及び他機関の協力を得る。

IV. 個人・法人の自覚と責任を持ち、運動体として活動する

1. 広報活動
 - (1) 広報誌「横浜いのちの電話」を発行する（5月・11月）。
 - (2) 「事業報告書」を作成し、発行する（7月）。
 - (3) ホームページを常に更新し、充実させる。
 - (4) パンフレット、カード等の配布資料を作成し、有効に活用する。
 - (5) 外国語電話相談を必要とする人たちへの広報活動及び支援者の輪を広げる。
 - ① 各種雑誌への掲載や、ホームページを用いて広報活動を積極的に行う。
 - ② 国際交流協会、各国大使館・領事館及び外国人援助団体などとの連携を深める。
2. 事業支援者の確保と拡大
 - (1) 事業支援委員会のもとに設置した財政支援部会を基軸に積極的に募金活動及び企業団体への働きかけを推進する。
 - (2) 維持会員・賛助会員の継続及び新規会員の加入に努める。
 - (3) 法人・団体の維持会員の新規加入に努める。
 - (4) 寄附金の拡大を図るため、寄附者に対する税額控除制度（国・県・市）対象法人としてのメリットを継続的にPRし、認可団体としての継続・維持に努める。
 - (5) ライオンズクラブ、ロータリークラブ、及び諸団体との連携を深め、協力を依頼する。
 - (6) 公開講座（ミニ講座も含む）を開催し、地域への広報啓発活動を行うとともにボランティア募集活動の推進を図る。
3. 事業支援委員会活動として、催し物部会ではコンサート及び映画会を実施する。またバザー部会では手作り作品の販売に努める。
4. 社会福祉法人制度改革に伴う法人としての体制確立と適正運営の維持・強化する。
5. 外国語相談（LAL）30周年記念事業（記念誌発行）を実施する。

V. 県・市等行政及び他機関との連携《社会との協働》

1. 日本いのちの電話連盟及び加盟電話センターと連携、協力する。
 - (1) 2023年度厚生労働省補助事業による自殺予防活動の一環として、毎月10日に実施される連盟主催の自殺予防フリー

ダイヤルへ継続参加する。

2020年度コロナ禍対応として開始されている毎日フリーダイヤルに2021年度より月2日参加しているが、更なる参加日数増を検討する。また、ナビダイヤル導入の再検討を行う。

- (2) 研修、広報活動など加盟電話センターと連携、協力をする。
2. 毎年9月10日の「世界自殺予防デー」に合わせ、神奈川県と横浜市の自殺対策街頭キャンペーン及びJR東日本と「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤルの駅頭告知活動をそれぞれ横浜駅等にてカード配布のPR活動を実施する。
3. 神奈川県下の川崎いのちの電話と連携を深める。
4. かながわ自殺対策会議、よこはま自殺対策ネットワーク協議会、相模原市自殺対策協議会、秦野市自殺対策推進委員会、湯河原町自殺対策推進協議会のメンバーとして、神奈川県・横浜市・相模原市・他の市町村及び関連機関との連携を深め、自殺防止活動に参画し、寄与する。
5. AIDS文化フォーラムin横浜に組織委員として参加する。
6. 外国語電話相談について
 - (1) ホームページを有効に活用し、より一層の周知を図る。
 - (2) 南米出身者のコミュニティーや職業紹介機関を通じてPRの促進を図る。

資金収支予算書

自：2023年4月1日 至：2024年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算	
事業活動による収支	収入	事業支援委員会収入	3,150,000
		寄付金収入	6,760,000
		経常経費補助金収入	8,000,000
		研修事業費収入	1,028,000
		共同募金配分金収入	530,000
		雑収入	0
		受取利息配当金収入	5,000
	事業活動収入計(1)		19,473,000
	支出	人件費支出	9,340,200
		事業費支出	9,227,700
事務費支出		3,671,000	
事業活動支出計(2)		22,238,900	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 2,765,900	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4) 0	
	支出	固定資産取得支出	375,540
		施設整備等支出計(5)	375,540
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 375,540	
その他の活動による収支	収入	その他の積立金取崩収入	3,700,000
		その他の活動による収入計(7)	3,700,000
	支出	その他の活動支出計(8)	500,000
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,200,000
予備費支出(10)		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		58,560	
前期末支払資金残高(12)		18,456,324	
当期末支払資金残高(11)+(12)		18,514,884	

法人組織

法人役員（2023年7月1日現在）

理事長	松橋 秀之	社会福祉法人のぞみの家理事長
理事	佐渡美佐子	横浜いのちの電話相談員委員会委員長
	笠井 政記	横浜いのちの電話 事業支援委員会委員長
	十川いづみ	横浜いのちの電話 研修委員会委員長
	佐竹 博	公益財団法人横浜Y M C A 総主事
	千木良 正	小長井・千木良・渡邊法律事務所 弁護士
	坪内 大輔	横浜いのちの電話 広報委員会委員長
	西崎 猛之	社会福祉法人鎌倉静養館理事長
	藤井 豊美	横浜いのちの電話外国語相談総会議長・コーディネーター
監事	野沢 豊	元 日本埠頭倉庫株式会社 常勤監査役
	目黒 裕	社会福祉法人大和しらかし会大和市障害福祉センター松風園統括園長
評議員	石黒 敬史	社会福祉法人興寿会理事長
	中村 好美	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 会長
	栗山 仁	神奈川県中央児童相談所 所長
	新堀由美子	男女共同参画センター横浜南 館長
	竹内 直樹	医療法人横浜いずみ会開花館クリニック 副院長
	永井 撤	東京都立大学 特任教授
	濱田 壮久	カトリック草薙教会 主任司祭
	平野 孝夫	株式会社オリマツ代表取締役会長
	政岡 弘道	宗教法人眞光寺代表役員（住職）
	山田 正夫	元 神奈川県精神保健福祉センター 所長

法人会議

理事会	第1回	2022年	5月25日	評議員会	定 時	2022年	6月14日
	第2回	2022年	10月26日				
	第3回	2023年	1月25日				
	第4回	2023年	3月22日				

苦情解決制度についてのお知らせ

社会福祉法人横浜いのちの電話が提供するサービスに関わる苦情に適切に対応するため、苦情解決の仕組みを整えています。

苦情の受付 横浜いのちの電話事務局

第三者委員 三宅 玲子（心理専門相談）
植田 薫（弁護士）
岩本 弥生（外国語相談）
永井 撤（評議員）
松原 康雄（学識経験者）

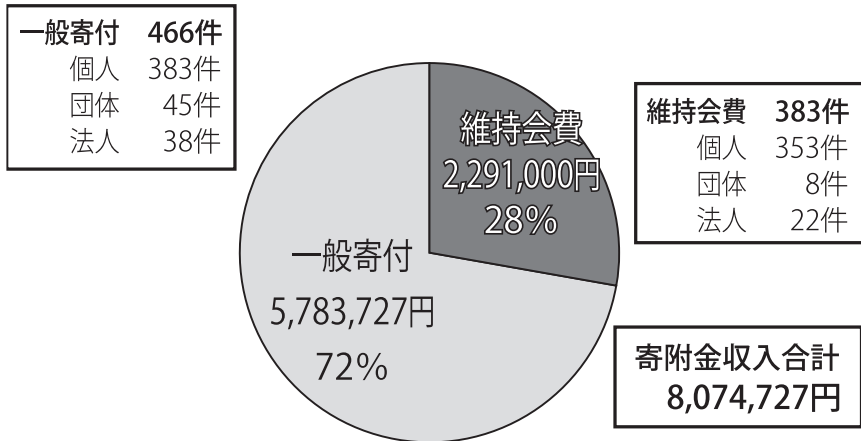
2022年度感謝報告

日頃より横浜いのちの電話の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

横浜いのちの電話は多くの方々や団体、法人の皆様の温かいお気持ちに支えられ今年度も活動を続けることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

皆さまから頂いたご寄付は、これからもより良い相談活動を継続させるために大切に使用させていただきます。引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

ご寄付を頂きました方々のご芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名につきましては、万全の注意を払ってはおりますが、万が一にも記載もれや誤字脱字がございましたら、恐れ入りますが事務局までご一報いただければ幸いです。また個人情報保護上、掲載を希望されない方のお名前は掲載いたしておりません。今後も掲載を希望されない方はお知らせください。敬称は省略させていただきます。



◎維持会費（個人）

- | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------------------|
| ◆ア | 相沢 匡 | 青木 英人 | 青木 佳子 | 青田 雅子 | 青山しのぶ | 秋山 英代 | 阿久津久枝 |
| 雨宮 里美 | 天野 明子 | 新井 裕子 | 荒川 節子 | 有田モト子 | 安蔵 富江 | 安藤実菜子 | |
| ◆イ | 飯塚由紀子 | 飯野 満代 | 家里 敦子 | 伊草 淳子 | 池田 敦子 | 池田 淑美 | 井下原百合子 |
| 井坂 秀一 | 石井 保弘 | 石川 叡子 | 石川 充子 | 石塚 博子 | 石附 峰子 | 五十畑誠子 | 板坂 光明 |
| 市村 毅 | 伊藤 君恵 | 伊藤 純子 | 稲垣 賀子 | 井上美佐子 | 猪俣 清子 | 今井 迪恵 | 伊豫部安代 |
| 岩澤 敏一 | 岩下由紀子 | 岩橋 圭子 | 岩橋 史明 | 岩淵 毅 | 岩本 満 | ◆ウ | 植木 向子 |
| 内田恵美子 | 打田真理子 | 梅田 淳子 | 潤井真理子 | ◆エ | 江口 チエ子 | 江口 洋子 | 海老原弘子 |
| ◆オ | 大江 美香 | 大久保規矩夫 | 大久保俊夫 | 大久保洋子 | 大久保芳子 | 太田 桂子 | 大竹 朋子 |
| 大塚由香里 | 大槻久美子 | 大友 順子 | 大貫まち子 | 大畑みどり | 大原英里子 | 大平みちよ | 小笠原佳子 |
| 岡本理津子 | 岡本 恵子 | 岡本 昂 | 小川 勝利 | 小川 恒子 | 小川由起子 | 大川原勝子 | 荻沼 敦子 |
| 奥田 紀子 | 小貫 洋子 | 小畑 克 | 小原 勉 | ◆カ | 柿沢 純江 | 加行 尚 | 笠原 光子 |
| 榎村かおり | 片平光知子 | 片山功仁慧 | 加藤あゆみ | 加藤 征三 | 加藤 浩子 | 加藤 博子 | 加藤 文男 |
| 加藤真知子 | 加藤 葉子 | 金子 ユミ | 金子佐智子 | 金子 由紀 | 加野 俊恵 | 上川 定子 | 上地 操 |
| 上村千代子 | 加山 潤一 | 川添 祐子 | 河内ゆう子 | ◆キ | 紀井 悦子 | 菊地 綾子 | 菊地万里子 |
| 木曾美沙子 | 北 孝史 | 喜多村光江 | 木原 サエ | 木原由紀子 | 君塚 展子 | 木村 和子 | 木村 弘子 |
| 木村 雅恵 | 木本美枝子 | ◆ク | 草本 和子 | 楠本 泰子 | 工藤 幸子 | 工藤 譲 | 久保 勇 |
| 久保 玲子 | 黒部 一允 | ◆コ | 小出太美夫 | 小菅 啓子 | 児玉 王子 | 小林 絹代 | 小林 信子 |
| 小林 葉子 | 小松 智子 | 小森 綾子 | 小森 詳宏 | 小山 かよ | 小山 裕子 | 近藤 繁子 | |
| ◆サ | 斎藤 悦子 | 齋藤 荘之助 | 齋藤 たえ | 齊藤みどり | 榊原 隆太 | 坂齋三枝子 | 坂野 日和 |
| 坂本 良子 | 佐藤 圭 | 佐藤 光江 | 佐藤有見子 | 佐藤よし子 | 佐渡美佐子 | 佐野 知子 | 佐藤 千早 |
| 澤村 幸子 | ◆シ | 茂田 悦子 | 重宗美智子 | 篠崎 千波 | 島田 裕子 | 島津 直美 | 清水 保 |
| 志村 和子 | 下会所一恵 | 下村 厚子 | 下村 秀子 | 庄司 恵子 | 庄子 徳義 | 白石 律子 | 白川 啓子 |
| 陳岡 啓子 | ◆ス | 梶村 千津 | 鈴木江美子 | 鈴木 和子 | 鈴木 リツ | ◆セ | 関根 恵子 |
| 瀬田 義雄 | 芹澤由紀子 | ◆ソ | 十川いつみ | 外田 博子 | ◆タ | 高島千恵子 | 高須 あい |
| 高田 耕多 | 高野 晴子 | 高橋 章 | 高橋久仁江 | 高橋 恵子 | 高橋 純子 | 高橋 恒子 | 高橋 ゆか |
| 高橋 吉巴 | 高山 勝則 | 滝口 久恵 | 滝沢 潔 | 竹内 直樹 | 竹内 弥生 | 竹谷なつみ | 田代 良一 |
| 田中 巖 | 田中三一子 | 谷川 雅恵 | 谷沢 栄司 | 谷 隆英 | 種蔵 宜子 | 田原 景子 | 田宮 繁子 |
| 田村素恵子 | 田村 紀子 | 田村 美子 | ◆チ | 長南 康子 | 長 一男 | ◆ツ | 津田 道夫 |
| 綱島 和子 | ◆テ | 手塚 正子 | ◆ト | 東島 昌子 | 徳永 敬子 | 土志田康浩 | 富田 修一 |
| 鳥海 薫 | ◆ナ | 永井 嵩朗 | 永井 撤 | 中島 博明 | 長嶋 君江 | 中島富美子 | 長瀬 陽子 |
| 永田千鶴子 | 仲手川徳幸 | 永野 肇 | 中林 淳子 | 中村知江子 | 中谷 直美 | 那須 泰治 | 南宮 一子 |
| ◆ニ | 新見 泰代 | 野村 寛子 | 西崎 猛之 | 西 美和子 | 西谷 大介 | ◆ネ | 根崎 理香 |
| ◆ノ | 野沢 純子 | 野沢 豊 | 野田 政則 | 野中多津子 | 野畑 勢津 | 野村 重子 | |
| ◆ハ | 芳賀 朋子 | 橋口奈保子 | 服部千枝子 | 花立 悦治 | 花村 節子 | 馬場 泰子 | Pubill Puig Xavier |
| 原崎 郁夫 | 原 寛子 | 治田 哲之 | ◆ヒ | 日笠 宏 | 東 大策 | 樋口 純子 | 菱山 米子 |

飛弾野育子	百武 紀子	平尾 良子	平城 波江	平嶋 丸美	平塚 幸子	平根 寛	平野 敦司
平野 孝夫	蛭田 典子	広越 昭紀	◆フ	深澤 祥江	福永 牧子	福永 隆	福本 秀子
福山 笑子	藤井 征子	藤崎 孝子	藤田 妙子	藤田 久子	藤野 英明	藤吉 康司	藤井 明子
古川恵美子	古川 淳一	古野 裕子	古谷 大輔	◆ホ	星野 敦子	堀田 礼子	
◆マ	前田いづみ	増田 雅子	松石 裕子	松浦恵美子	松尾恵津子	松木 英雄	松下 寿子
松田 英幸	松橋 秀之	松本 直樹	◆ミ	溝幡 三紀子	三橋千代子	三橋 三恵	三橋満里子
皆川真理子	南 慶子	峯岸 文子	簗島 典代	宮嶋 久枝	宮田 和恵	宮本 佳奈	
◆ム	向野 和雄	村木 順子	村木 正子	◆モ	持川 光代	森口 弥生	森 敬子
森田 茂寛	森原 久子	森 優美	◆ヤ	柳下 修	八塚 住子	柳村 典子	山口 明子
山口いね子	山口 奈巳	山口 善弘	山崎恵美子	山田千賀子	山田真由美	山田 理子	山田 洋子
山本 きく	山元 桂子	◆ユ	結城由美子	弓削寿美子	◆ヨ	吉岡 喜子	吉住真理子
吉田よし子	吉野 典子	吉味 徳子	米田 和彦	◆ワ	若尾 正子	若林 園子	渡辺 詢子
渡辺はるみ	渡部 好子	渡辺 静江					

◎維持会費（法人）

安楽寺 (株)一幸堂	圓光院 (株)京浜急行電鉄	香象院	廣徳寺	光明院
国分寺 西善院	真照寺 荘厳寺 (株)相鉄ローゼン	増徳院	(株)高島屋横浜店	
(株)デザインコンピピア	東昌寺 東漸寺 (株)古河電池販売 (株)マルヤホーム	(有)京横興発	(株)横浜銀行本店	
(社福)横浜YMCA福祉会				

◎維持会費（団体）

カトリック国際協働会	神奈川県精神科病院協会	鎌倉恩寵教会	杉山神社幼稚園	蒔田教会	横浜菊名教会壮年会
横浜金港ライオンズクラブ	YOKOHAMA BELLライオンズクラブ				

◎一般寄付（個人）

◆ア	相澤 泰代	青木 英人	秋山 英代	有田モト子	安藤 浩美	◆イ	飯塚由紀子
井坂 秀一	石井 保弘	石川 充子	石塚 博子	石附 峰子	五十畑誠子	市川千世子	井上美佐子
猪俣 清子	今井 迪恵	伊豫部安代	岩澤 敏一	岩橋 圭子	岩橋 史明	岩淵 毅	岩本 満
◆ウ	植田 茂子	植田 雅子	内田恵美子	打田真理子	浦川富二子	江口 洋子	
◆エ	海老原弘子	江渕 武雄	◆オ	大江 美香	大久保 明	大久保和也	大久保規矩夫
大久保洋子	大貫まち子	大畑みどり	大平みちよ	大輪 靖宏	岡本 香苗	小川由起子	荻原 京子
奥田 紀子	尾中 孝子	小貫 洋子	小畑 克	小幡 佳子	小原 勉	◆カ	柿沢 純江
加行 尚	片柳 時枝	片山功仁慧	加藤あゆみ	加藤 浩子	加藤 葉子	金子 由紀	上川 定子
上地 操	亀岡 大造	川崎 智晴	◆キ	菊地 綾子	菊地万里子	岸 厚子	喜多村光江
北村由紀子	木原由紀子	木村 和子	木村 弘子	木村 雅恵	◆ク	久森 邦子	黒部 一允
◆コ	香山 一江	小林 信子	小林 信子	小林富美子	小林 葉子	小森 詳宏	黒部 正武
◆サ	村木 明子	坂野 日和	坂野 日和	佐々木伊奈子	佐治恭仁子	佐藤 圭	佐藤 光江
佐藤有見子	佐藤よし子	佐渡美佐子	佐野 知子	佐藤 千早	◆シ	茂田 悦子	重宗美智子
篠崎 千波	島田 裕子	島津 直美	清水 保	下山 弘至	庄司 恵子	庄子 徳義	神馬 純江
◆ス	梶村 千津	杉山 孝博	鈴木江美子	鈴木 リツ	鈴木 律	◆セ	瀬尾 幸男
関 ひさ	瀬田 義雄	◆ソ	十川いづみ	◆タ	高島千恵子	高須 あい	高橋 恵子
高橋 恒子	高橋 吉巴	高原 将光	高山 勝則	高橋久仁江	滝口 久恵	滝沢 潔	竹野内恭子
館 東子	田中 巖	田中 英雄	田中三一子	田中 洋子	谷 隆英	田原 和子	
◆チ	茅野 郁子	長南 康子	◆ツ	辻川 篤	つながる募金	鶴田 京子	
◆テ	手塚 正子	◆ト	富田 重次	富田 修一	友田 秀子	◆ナ	永井 嵩朗
中尾 久美子	長尾 光子	中川 董子	中島 博明	中島富美子	長瀬 陽子	永田千鶴子	仲手川徳幸
永野 肇	中 典子	中林 淳子	那須 泰治	◆二	西川 綾子	西崎 猛之	西谷 大介
丹羽 慧子	◆ノ	野沢 純子	野沢 豊	◆ハ	橋口奈保子	花立 悦治	花村 節子
馬場 泰子	Pubill Puig Xavier	濱田 壮久	濱田 静子	原崎 郁夫	原田 勝男	原 寛子	
◆ヒ	日笠 宏	東 大策	樋口 純子	菱山 米子	飛弾野育子	平尾 良子	平根 寛
平野 孝夫	平野 孝使	平本 淳一	広越 恵子	◆フ	深澤 聖子	深澤 祥江	福山 笑子
藤崎 孝子	藤吉 康司	藤井 明子	古川恵美子	◆マ	古川 淳一	古谷 英之	
◆ホ	募金袋	堀田 礼子	◆ム	前田いづみ	町田 浩	松木 英雄	松田 英幸
松田 優子	松橋 秀之	松村 清司	松本 直樹	松山 清子	◆ミ	水谷 透	三橋 三恵
三橋満里子	皆川真理子	三宅 玲子	宮田 和恵	◆ム	村田 貴子	◆メ	目黒 裕
◆モ	森口 弥生	森 敬子	森田 茂寛	◆ヤ	山本 きく	屋嘉部路代	矢谷安紀子
八塚 住子	山口 明子	山口いね子	山口 幸子	◆ヨ	吉田よし子	山元 桂子	
◆ユ	結城由美子	◆ヨ	横田カツ子	◆ワ		吉味 徳子	米田 和彦
◆ワ	和賀 順子	渡辺 詢子	渡辺はるみ				

◎一般寄付（法人）

(株)アパ企画開発	基督兄弟団横浜教会	(有)汲沢電設	けやきの森病院	香象院	廣徳寺	西善院
生命保険協会神奈川県協会	荘厳寺	増徳院	東漸寺	(株)ハニーミルク		(株)マルヤホーム
(有)京横興発	(有)フットフィール	蓮花院				

◎一般寄付（団体）

厚木幼稚園	霞ヶ丘教会	鎌倉雪ノ下教会	関東学院六浦中学高校	関東学院中学高校	鶴沼めぐみルミ教会		
桜ヶ丘幼稚園	篠原教会	田園江田教会	湘南茅ヶ崎ライオンズクラブ	新横浜教会	捜真女学校PTA同窓会		
ソニー生命株式会社	茅ヶ崎恵泉教会	逗子教会	田浦教会	清水ヶ丘教会	藤沢教会	藤沢北教会	藤沢北教会婦人会
藤沢カトリック教会	翠ヶ丘教会	紅葉坂教会	湯河原町長	横須賀学院	横浜海岸教会	横浜指路教会	横浜あおばライオンズクラブ
横浜旭ライオンズクラブ	横浜泉ライオンズクラブ	横浜磯子教会	横浜英和学院	横浜学院	横浜教会	渡辺滋基金	横浜共立学園
横浜雙葉中学高校	YOKOHAMA BELLライオンズクラブ	横浜南口-刈-クラブ	ライオンズクラブ国際協会330-B地区	レノブトリス修道院			

<以上、敬称略>

2022年度事業支援委員会 感謝録

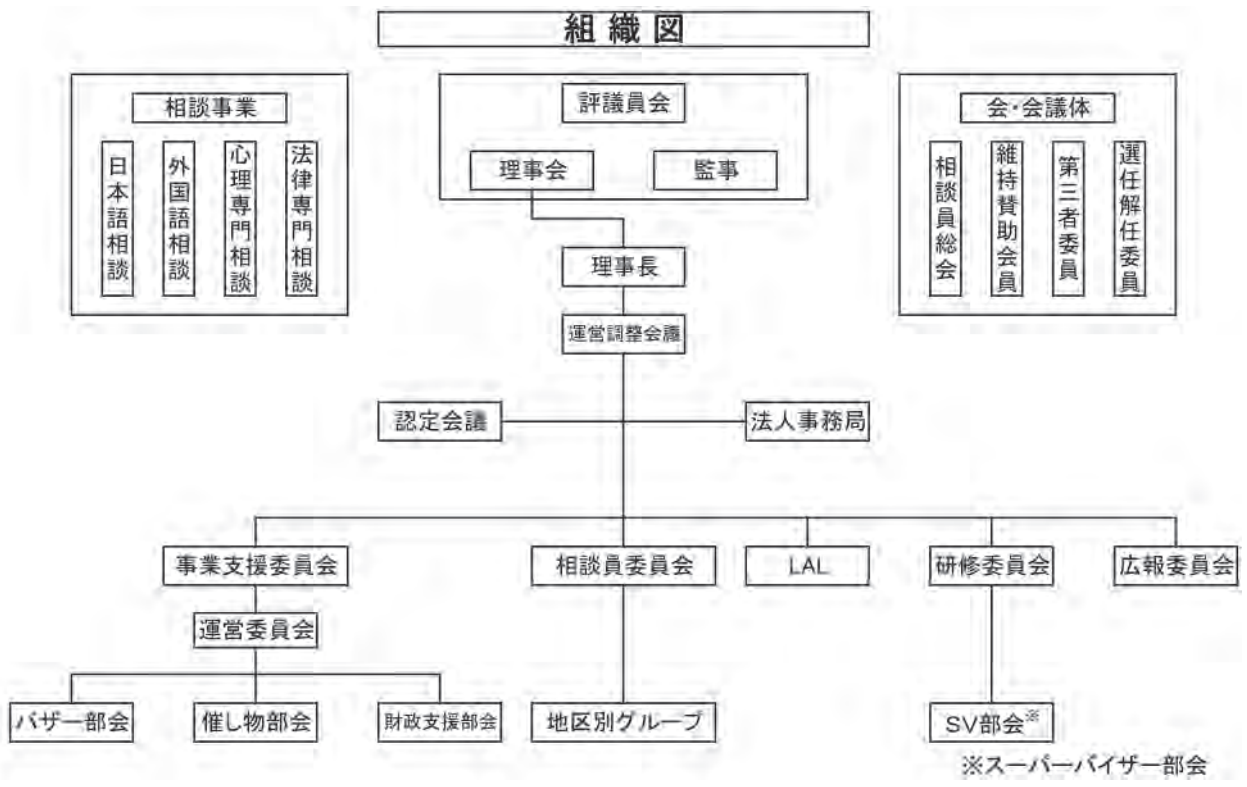
社会福祉法人横浜いのちの電話の一組織として、バザー・コンサートなどの支援会活動を行いました。その収益を横浜いのちの電話の相談活動の運営資金として協力することができました。活動を支えてくださった多くの方々・団体に感謝いたします。

秋のコンサート 広告協賛企業

(株)有隣堂	(有)ヨネヤマプランテーション	(株)三彩社
横浜醤油(株)	(株)ガトーよこはま	(株)つま正
(株)オリマツ	社会福祉法人鎌倉静養館	カサイ企画
戸越税理士法人	(株)白楽花園	(株)メリー
(有)光越商事		

ご協力いただいたバザー会場（3会場）

- ・1月15日 よこはまチャイルドライン20周年イベント（岩間市民プラザ）
 - ・3月 7日 横浜いのちの電話 春の映画会（戸塚区民文化センター さくらプラザ）
 - ・3月22日 いのちの電話公開講座（かながわ労働プラザ）
- 主催：ライオンズクラブ国際協会330-B地区／横浜いのちの電話／川崎いのちの電話



支援会ボランティア・資金ボランティアで ご協力いただけませんか。

お問い合わせ先 事務局 045-333-6163

支援会ボランティア

横浜いのちの電話の電話相談活動を資金面で支える、支援会ボランティアには、手作り品の製作に励むバザー部会と、映画やコンサートの企画立案をする催し物部会があります。両部会とも、仲間と楽しみながら自分のできることで社会貢献できるのが喜びになっています。

資金ボランティア（寄付のお願い）

眠らぬダイヤルとして24時間体制で電話相談を続けていくためには、運営資金が必要です。維持会員または賛助会員になって資金面でのご協力をお願いします。皆様の温かいご支援をお待ちしています。ご寄付には税制上の優遇処置があります。

○維持会員（毎年一定額を援助して下さる方）

個人 年間1口 3,000円 5,000円 10,000円

法人 年間1口 10,000円（何口でも可）

○賛助会員（随時、任意の額を援助して下さる方）

○振込先 郵便振替 00240-3-15191

銀行振込 三井住友銀行 横浜駅前支店

普通口座番号 9367360

口座名 社会福祉法人横浜いのちの電話

※銀行振込の場合は、ご住所をお知らせください。領収書をお送りいたします。

遺贈について

ご遺産や相続された遺産を、横浜いのちの電話のために寄付したいとお申し出が増えております。手続きなどのご相談は事務局までご連絡ください。なお、ご寄付に対しては相続税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。

<表紙の絵について作者の言葉>

トモエソウ（オトギリソウ科）

曲がった花弁を回すと中心に集中していくように見えることから名がついたとか。

わかってほしい、関心を向けてほしいと願ってかけてくるかけ手に、より添うことに専念するように心がけています。

(M. K)

いのちの電話は
いつもあなたのそばにいます
一人で悩まずにご相談ください
24時間・年中無休の眠らぬ電話です
名前をいう必要はありません
相談内容の秘密は必ず守ります



日本語電話相談

045-335-4343

外国語電話相談

0120-66-2477 スペイン語

0120-66-2488 ポルトガル語



横浜いのちの電話 2022年度事業報告

発行日 2023年7月

発行者 松橋秀之

発行所 社会福祉法人横浜いのちの電話

〒240-8691

日本郵便(株) 保土ヶ谷郵便局私書箱32号

事務局 Tel 045-333-6163

fax 045-332-5673

<http://www.yind.jp/>



この報告書は神奈川県共同募金からの配分金で作成しました。